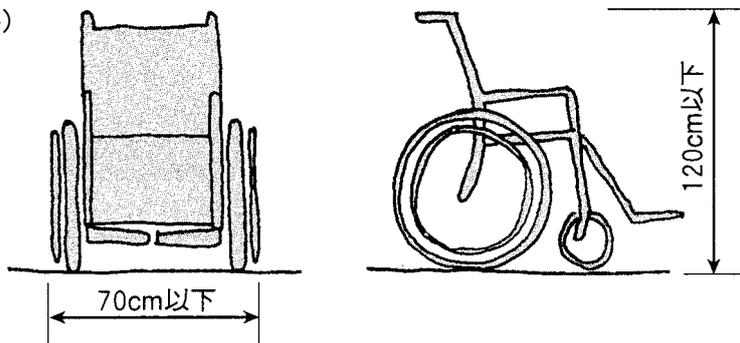


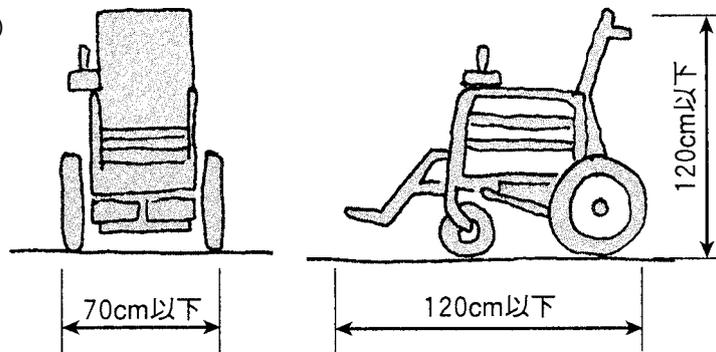
I 基本編

1. 車椅子等の寸法

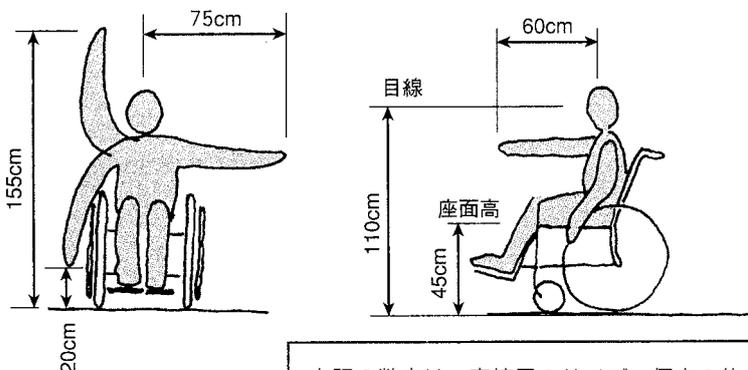
・手動車椅子 (JIS 規格)



・電動車椅子 (JIS 規格)



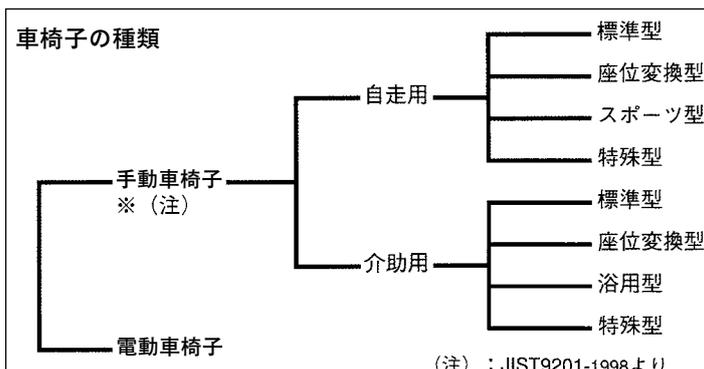
・人間工学的寸法



上記の数字は、車椅子のサイズ、個人の体の大きさや、障害の程度によって異なるため、あくまで参考値です。

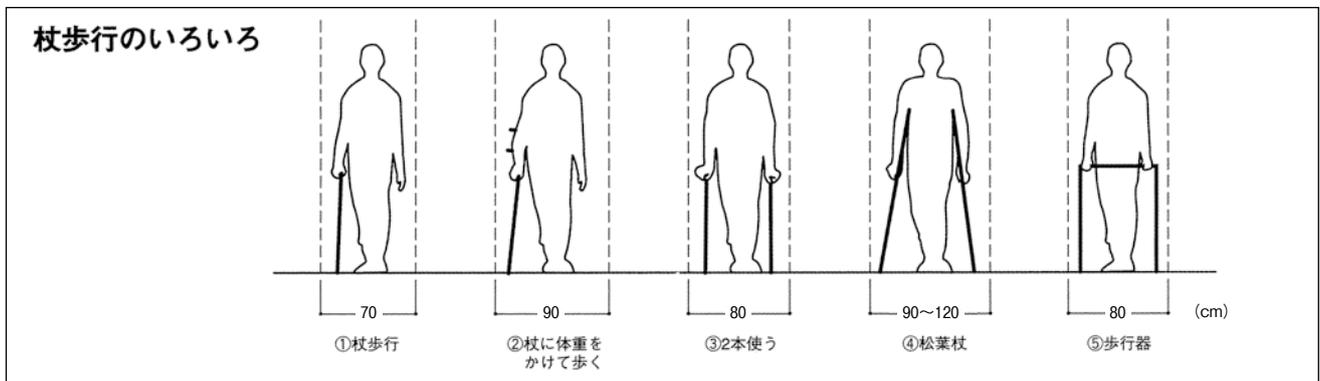
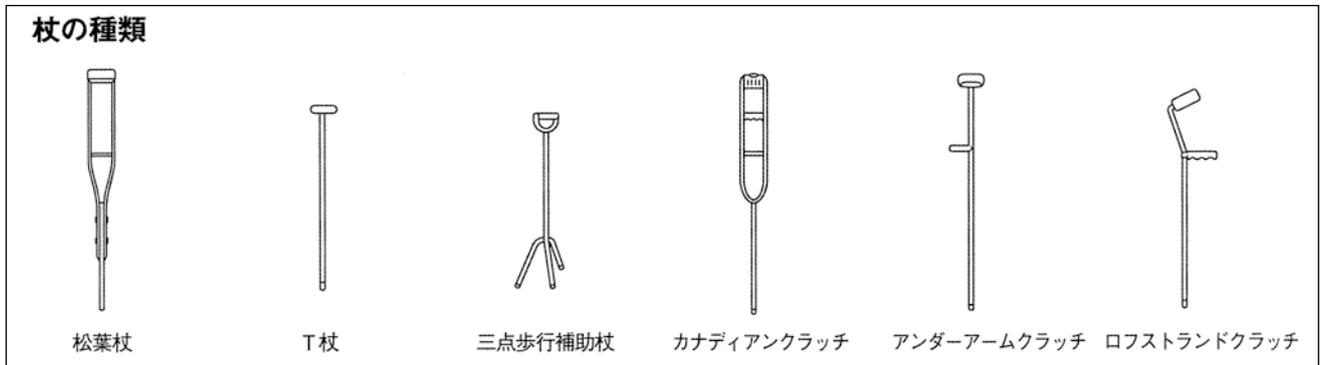
・車椅子について

車椅子は、駆動方式によって手動式・電動式の2つに大別され、その品質や性能については、JIS(日本工業規格)で規定されています。ここでは、JISで適用する車椅子の代表的なものとして、手動車椅子(自走用・標準型)と電動車椅子について紹介します。



・杖について

杖は歩行を助けるための補助具です。体重を支え歩行そのものを支えるためのものから、歩行の安定のために使われる物まで様々な杖があります。また、歩行器も歩行のための補助具として多く使われています。杖使用者に配慮したトイレの設計においては、滑りにくい床材、体を預けるための手すり、杖をどこに立てかけるか等に配慮する必要があります。

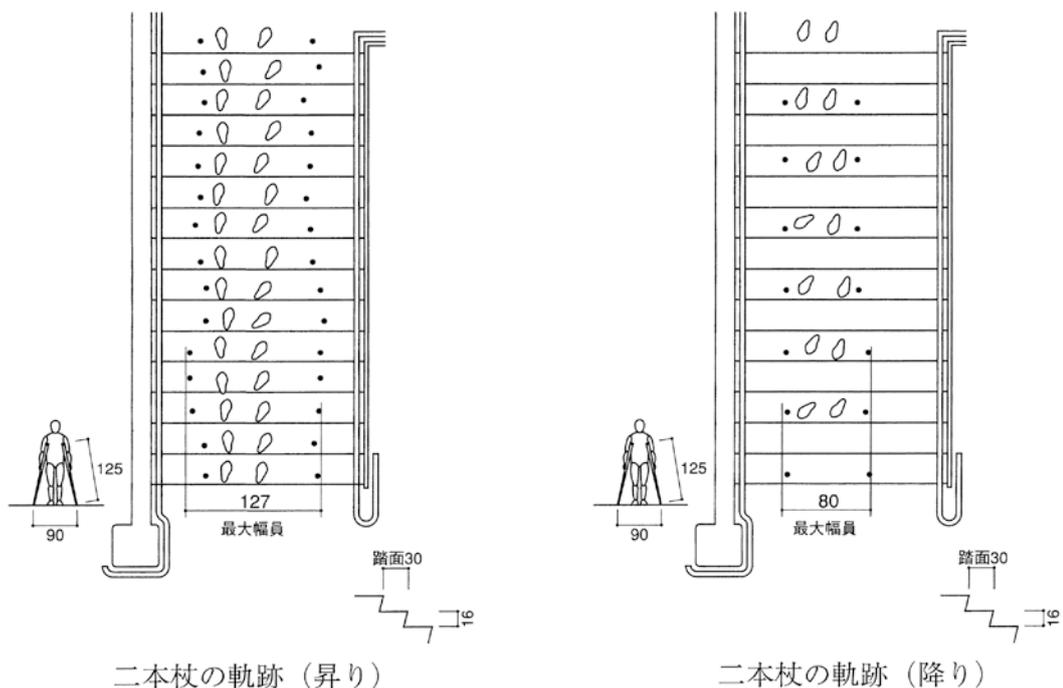


・計画上必要な動作空間

杖使用者にとって最小限必要な動作空間は、以下の通りです。

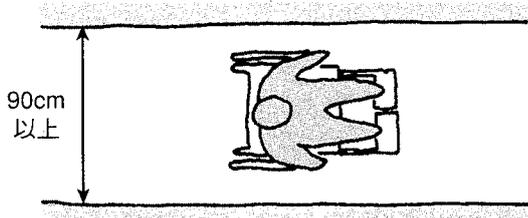
二本杖使用者の階段の昇降

(単位：cm)

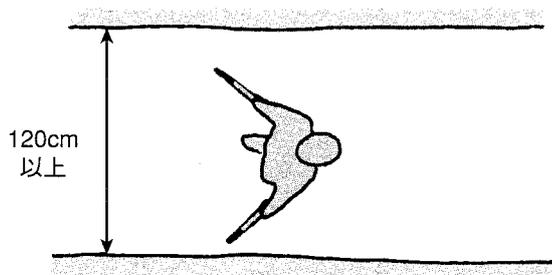
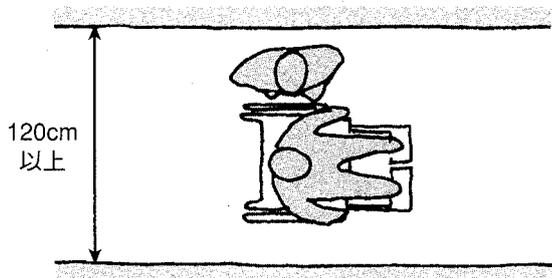


2. 通行スペース

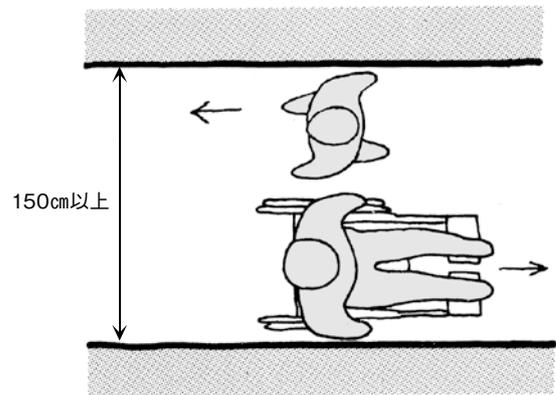
・車椅子で通行しやすい幅



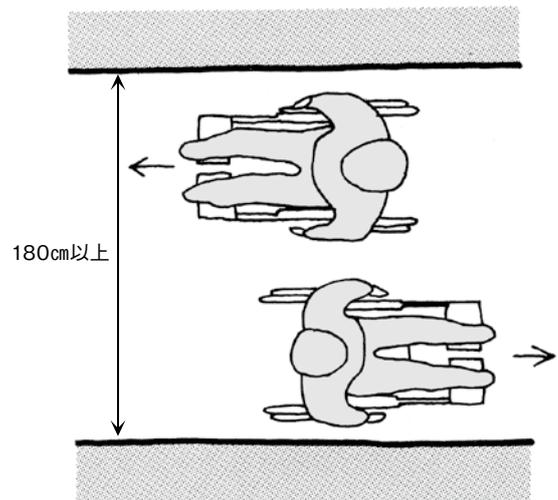
・車椅子と歩行者がすれちがえる幅



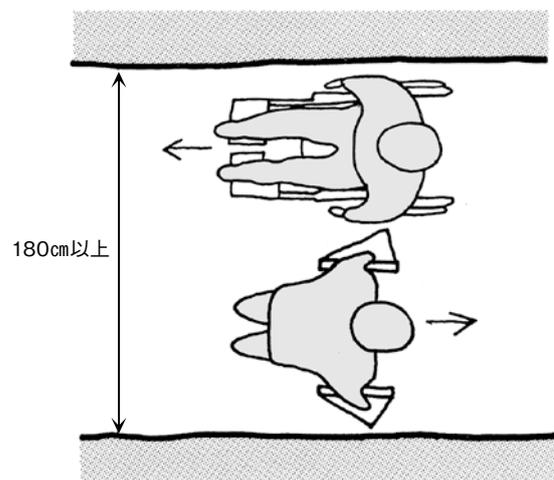
・車椅子と人（健常者）とのすれちがいやすい幅



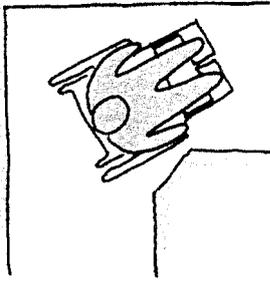
・車椅子どうしがすれちがいやすい幅



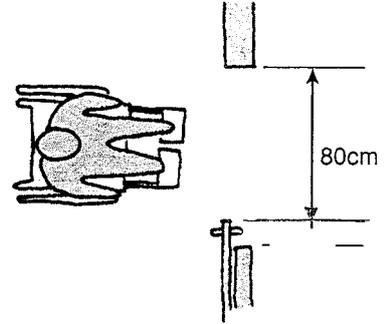
・車椅子と2本杖使用者とがすれちがいでる幅



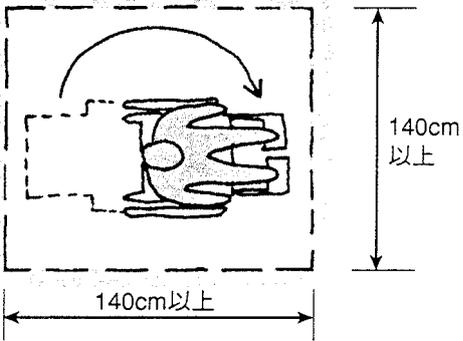
- ・車椅子に配慮したコーナー部の隅切り



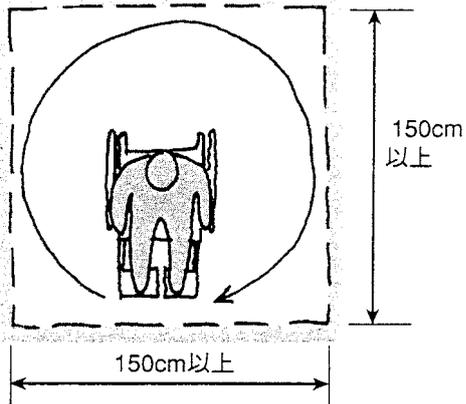
- ・車椅子で通行可能な開口幅（直進の場合）



- ・車椅子で方向転換できるスペース



- ・車椅子で回転できるスペース

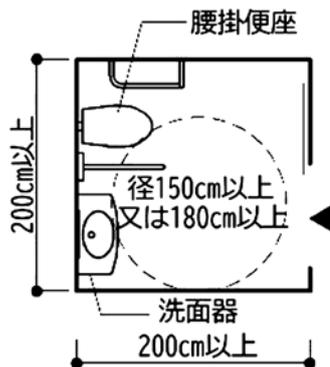


3. トイレの寸法

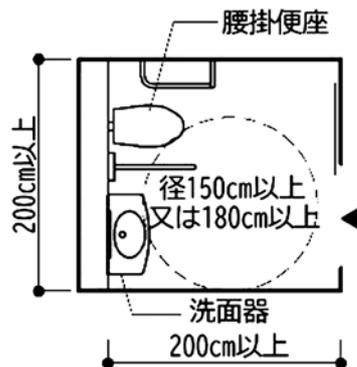
・車椅子使用者用便房

車椅子の使用者が円滑に利用できる広さや構造を備えた便房です。

ライニング（配管収納等）なし

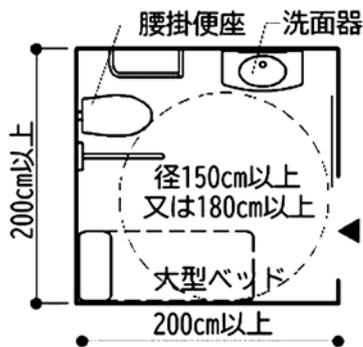


ライニング（配管収納等）あり



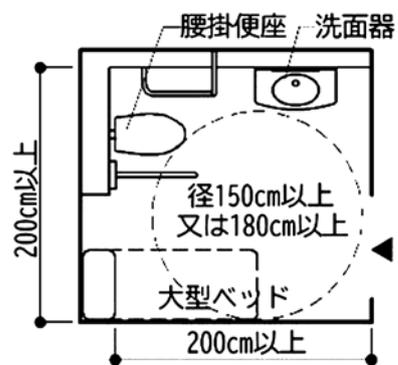
大型ベッド付き・

ライニング（配管収納等）なし

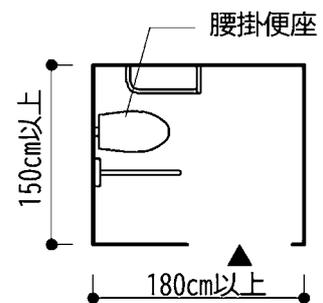
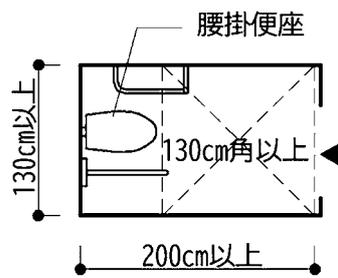
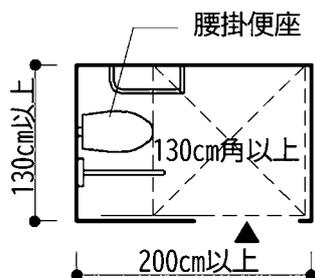


大型ベッド付き・

ライニング（配管収納等）あり



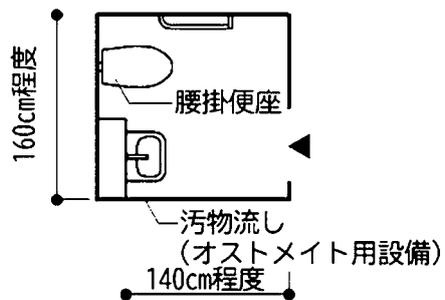
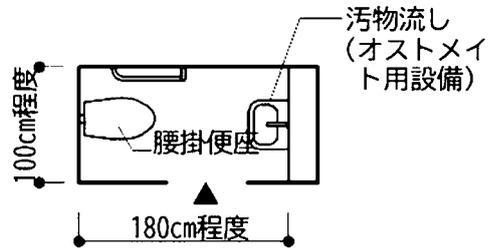
洗面器なし



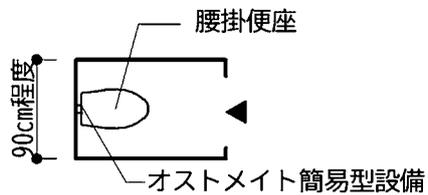
参考『高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（国土交通省）』

・オストメイト用設備を有する便房

腰掛便座のある広めの便房に汚物流しなどのオストメイト用水洗器具を設けたものです。



専用の汚物流しの設置スペースが取れない場合、腰掛便座の背もたれに水洗をつけたもの等も有効と考えられる。

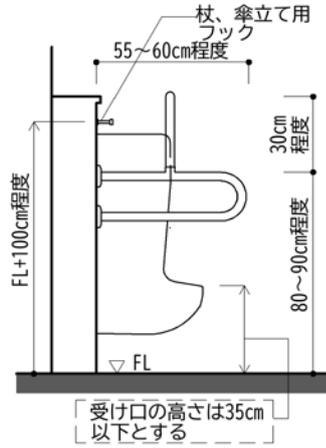


参考『高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（国土交通省）』

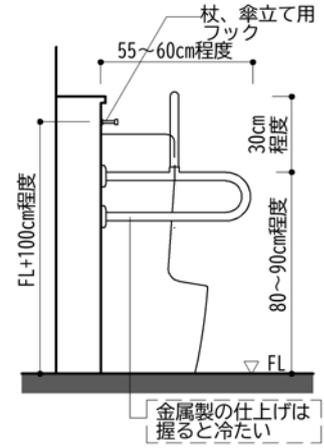
・手すりの設置例

小便器

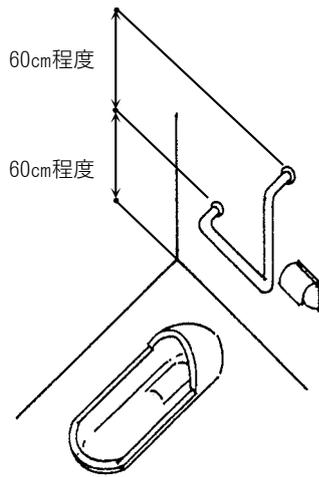
< 壁掛け式小便器の例 >



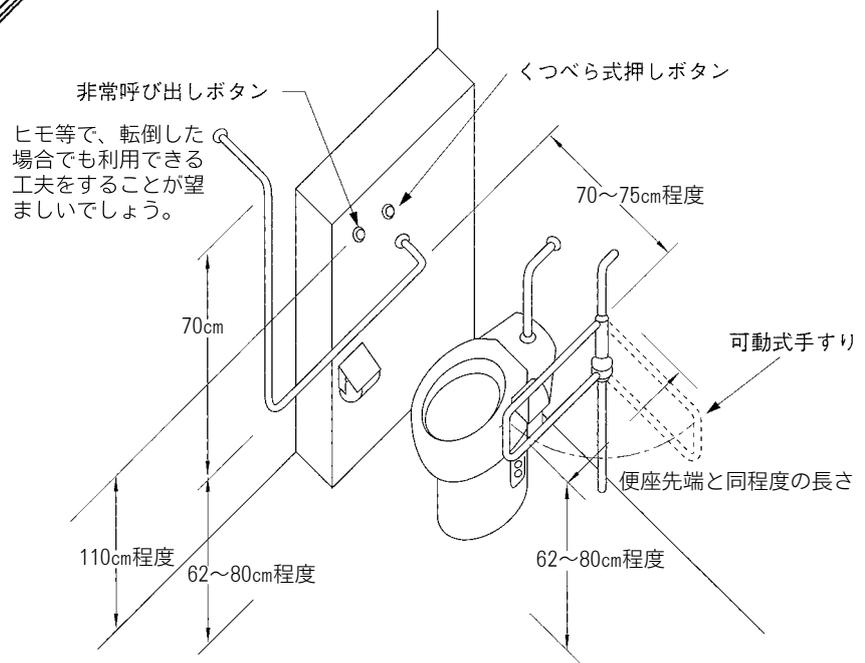
< 床置き式小便器の例 >



参考『高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準(国土交通省)』

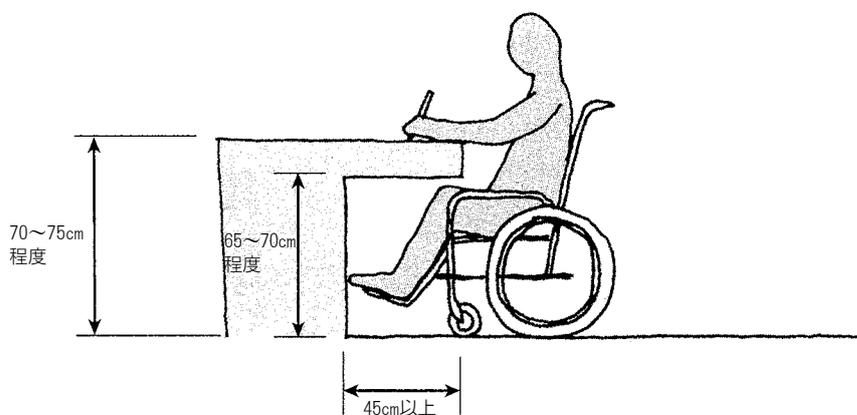


便器廻りの例



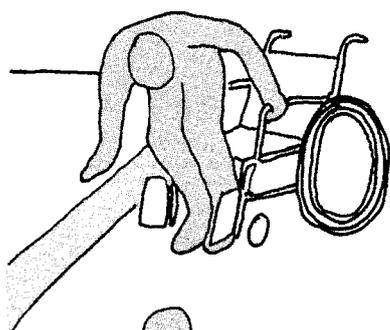
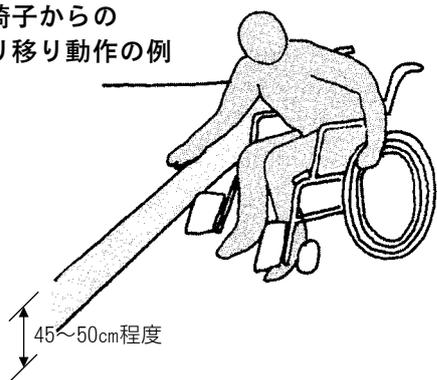
4. 車椅子使用者に対する配慮

- 車椅子使用者が使うテーブルは膝が入るようにします。

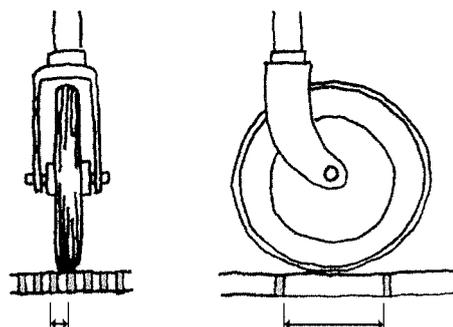


- 車椅子使用者が乗り移る台は車椅子の座面の高さ (45cm程度) に等しいことが望めます。

車椅子からの
乗り移り動作の例



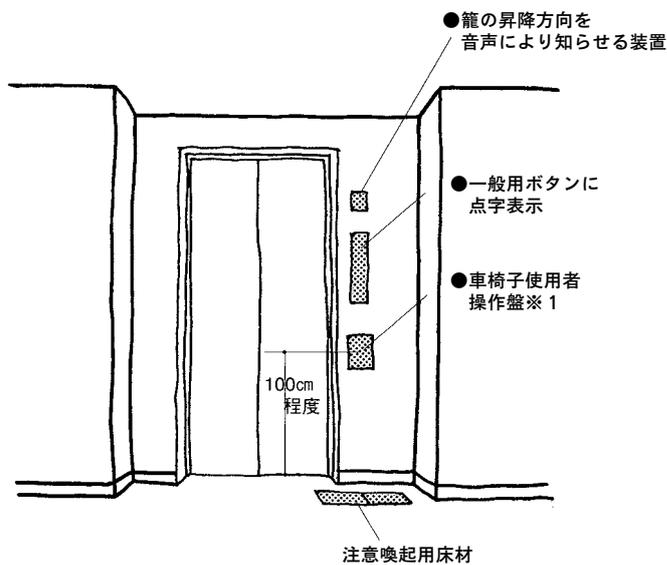
- 溝蓋は車椅子の前輪 (キャスト) がはまり込まないように、目の細かいものとしします。



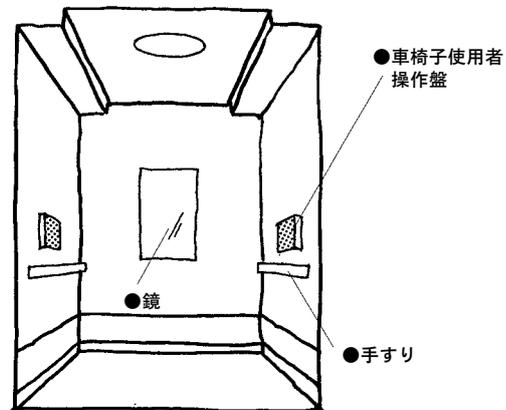
ピッチ1.5cm以下、隙間1cm以下



・昇降ロビー

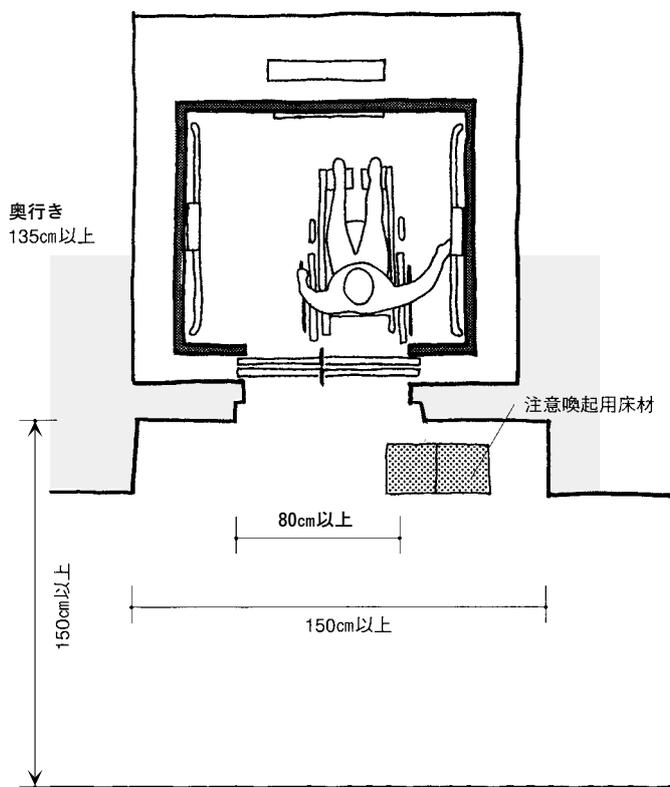


・籠内

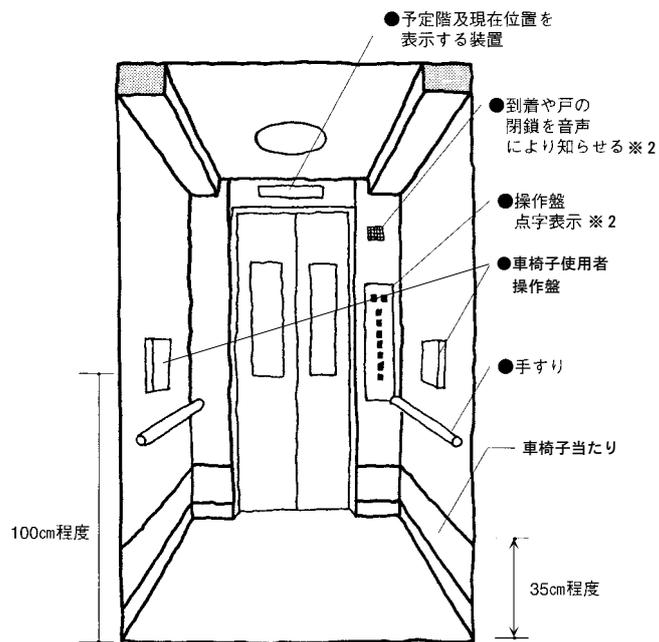


・昇降ロビー及び籠の寸法

幅は、140cm以上※1
車椅子の転回に支障がない構造とする※1

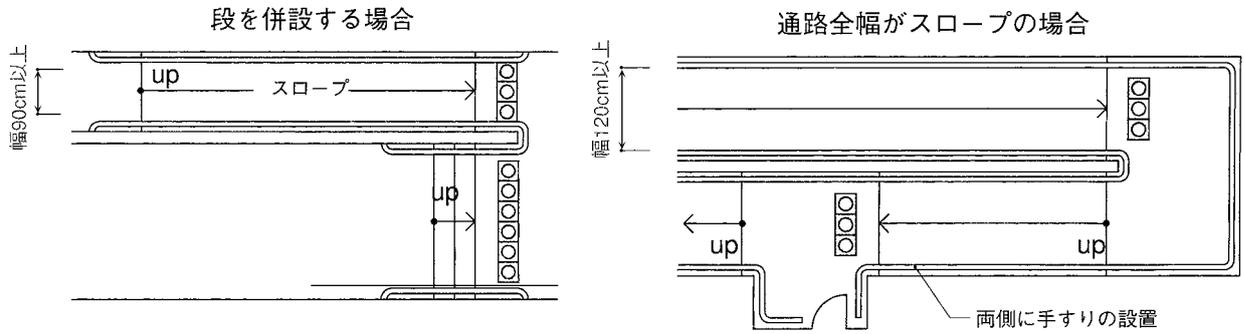


・籠内

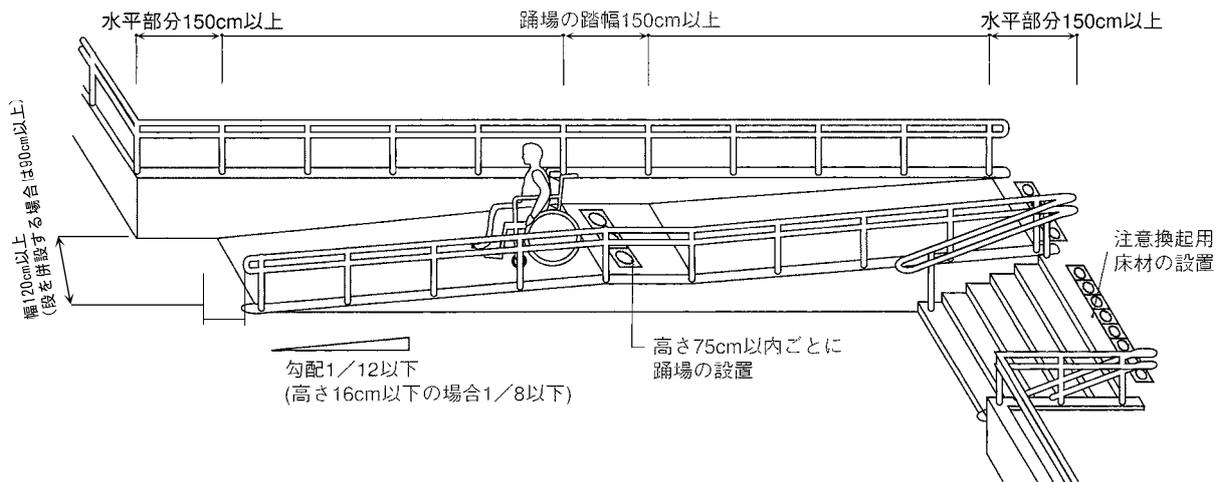


※1 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令第18条第1項第3号に該当するエレベーターの場合
 ※2 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令第18条第1項第3号に該当するエレベーター等の場合

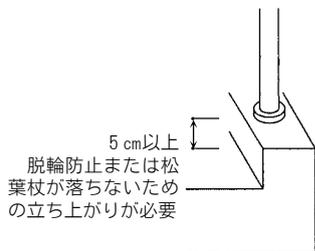
・傾斜路の幅員



・傾斜路の整備例



・縁部の立ち上がり



・傾斜路の手すりの例

